

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	学習計画支援事業所なは		
○保護者評価実施期間	2026年 3月 9日		～ 2026年 3月 24日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	31人	(回答者数) 11人
○従業者評価実施期間	2026年 3月 16日		～ 2026年 3月 26日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6人	(回答者数) 6人
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 26日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・子ども一人一人の特性に応じた支援の実施を行っている。	・子の学年や特性に合わせて、教材選択や活動内容を工夫して支援を行っている。	学校や他事業所などより密な関係を築くことで、利用者が安心して活動できる場 所を提供するように取り組んでいく。
2	・日々の活動に対しての記録を残し、その記録を職員間で共有して支援の改善に繋げている。	・職員間で子どもの様子を共有し、日々の活動でどのような様子だったのか把握できるよう意識している。	・より良い支援に繋がれるよう、保護者面談や親子で参加できるイベントの機会を設けていく予定。
3	・系列の事業所が近くにあることで、利用者や職員同士のコミュニケーションが図りやすい。	・職員同士での情報交換を活発に行い、利用者へより良い支援ができるよう努めている。	・利用者同士の交流を積極的に行い、さらなるコミュニケーションスキルの向上を図れるように取り組んでいく。

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・活動の中心が学習の為、その他の活動メニューや時間が限られてしまう。	・放課後利用の児童が多いため、宿題以外に取り組む時間が取りづらい。	・学習以外の活動が行えるように、スムーズに宿題に取り組み、興味のある療育メニューが行える時間を工夫していく。
2	・課外活動やレクリエーションなど、事業所外での活動が難しい。	・平日メインの開所となるため、課外活動やイベント活動を行うことが難しい。	・長期休みなどを利用し、利用者同士のコミュニケーションを図ったり平時にできない活動を盛り込んでいく。
3			